



善徳寺の
さんしょうかいめい
三将会盟



① 今、戦国時代の武将、甲斐(現在の山梨県)の武田信玄が脚光を浴びています。信玄は天下統一の志を持ち、その目的のためにたびたび駿河の国(現在の静岡県)に侵入して来しました。そのため富士市にも大変関係の深い武將で、信玄にまつわる史跡や古文書が残っています。そこで、今号から六回にわたり富士

市と信玄シリーズを掲載します。
◆善徳寺と三将会盟(その一)
善徳寺は、貞治二年(一二六二)那須の雲巖寺の住持、大勲策禪師が須津庄小県(今の中里一丁目)に庵を結んだことから始まりです。
その後、今泉水の上(今の福応寺あたり)に福王寺が建てられ、禪師の死後善徳寺と改名しました。やがて、寺域が手狭になったので今の寺市場付近に寺を移しました。その後、戦国大名として成長

してきた駿河・遠江の国守今川氏の保護を受け富士川以東第一の大寺として隆盛を誇るようになりました。
このころ、今川氏の軍事・政治的拠点として現在の今泉上和町付近に善徳寺城が築かれたものと思われれます。
ところで、小田原の北条氏と今川氏は、早雲と氏親以来、互いに助け合いながら交友関係を保っていました。その北条氏によって善徳寺は焼かれてしま

います。(つづく)
こちら編集室
我が課のベテランスタッフ二人が四月一日の人事異動で転課しました。彼らの広報広聴課勤務延年数は十二年。一方、新スタッフは四人合わせ、てわずかに五年。しかし、経験不足は努力で補えを合い言葉にスクラムを組み、総員奮闘しています。皆様、これからもよろしくお願いします。

富士の今と昔

37



現在は厚原中区公会堂として利用されています。



昭和十六年、玉渡神社に集合した厚原青少年団の皆さんです。当時団員であった桜井哲一さんのお話。

「これは、出征兵士の家(農家)へ勤労奉仕に行く時の写真でね、みんな手弁当だったね。曾我八幡神社や玉渡神社をよく集会所にしたね。交代で夜回りをやって防犯、防火にも活躍したもんだ。一番楽しかったのはお日待の時の入退団式で三日三晩宴会をやったよ」

息子が欠席の場合、母親(左端)が代って出ました



ぼくの作品 わたしの作品



愛生保育園年長組のお友達は、砂の造形を楽しみました。
二日ばかりで立派な富士山ができました。
保育園から富士山がよく見えます。



富士山のとっぺんは雪でまっ白、すそ野には牧場があるんだよ。ぼくたちも一度、富士山に登りたいな。